

# イベント情報

## 里やまを元気にしよう 12

オオムラサキの里山愛好会ではオオムラサキ自然公園の雑木林で里山物語活動を毎月行なっています。

里山に関心のある方は、ご参加ください。

開催日時 3月18日(日) 午前9時から  
開催場所 オオムラサキ自然公園  
内 容 毎月プログラムが変わります。  
持ちもの 軍手、作業ができる服装  
主 催 オオムラサキの里山愛好会

## オオムラサキの越冬幼虫調査会

### 開館5周年記念事業

12月にオオムラサキ自然公園のエノキの木の下に  
いることが確認されたオオムラサキの幼虫が、厳しい  
冬を越すことが出来たか、観察調査する。

開催日時 3月25日(日)  
午前10時から12時まで  
定 員 30名  
開催場所 オオムラサキ自然公園  
持ちもの 汚れてもよい服装

ガマズミの芽がふくらんで・・・。



## きのこのほだ木づくり

### 森林環境教育利用促進事業

雑木林から切り出した原木にきのこ菌を植えてみよう。  
きのこの炭火焼きも試食してみよう。

開催日時 13年3月4日(日)  
午前10時から12時まで  
定 員 20名  
開催場所 オオムラサキ自然公園  
参加費 ほだ木1本に付き200円 当日徴収  
持ちもの 軍手、木づちまたは金づち、作業ができる服装  
主 催 オオムラサキセンター

## オオムラサキの木工教室

山梨県の豊かな森から切り出された樹木を使って・・・。  
木工教室に参加しませんか。

開催日時 3月18日(日)  
午前10時から12時まで  
講 師 清水三郎  
(白州ウッドクラフトスクール代表)  
内 容 森の木を使って巣箱やティッシュボックス等  
を作る。  
定 員 30名  
開催場所 オオムラサキ自然公園  
持ちもの 軍手、金づち  
作業ができる服装  
主 催 オオムラサキセンター

## お問い合わせ・お申込は

〒408-0022  
山梨県北巨摩郡長坂町塚川2812番地  
長坂町オオムラサキセンター  
TEL&Fax 0551-32-6648

<http://www.yatsu.gr.jp/ngs/oomurasaki/index.html>

# オオムラサキ通信

No.34



クリオオアブラムシの

発行：平成13年2月27日  
編集：長坂町オオムラサキセンター  
〒408-0022 山梨県北巨摩郡長坂町塚川2812番地  
TEL&Fax 0551-32-6648

# オオムラサキ最新情報

オオムラサキの4齢幼虫は今、落ち葉の下で越冬して  
います。  
(適度に湿った落ち葉に台座を作り、じっとしています。)

雪の多い1、2月でしたが、ここ2、3日春のように暖か  
くなりずいぶん雪が溶けてきました。  
雪の下では春を待つ生き物たちが溶ける日をまだかま  
だかと待っています。雪の多い年は草の伸びが良いと言  
います。雪が溶けると一気に活動しはじめるのです。

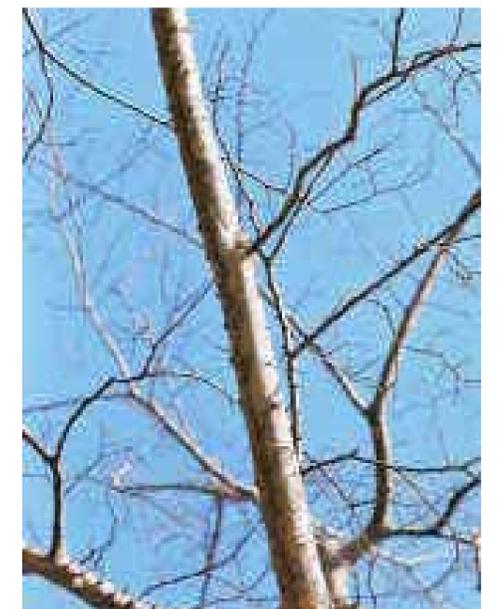
オオムラサキの幼虫はどうしているのでしょうか？  
先日、オオムラサキの人工飼料や起眠の研究をしている  
山梨県総合農業試験場の真浦さんが来館され、一緒に野  
外のエノキの根元を観察してみました。  
落ち葉をめくると、すぐに数頭の幼虫が見つかりまし  
た。幼虫は落ち葉にしがみついて、深い眠りにについてい  
るように見えました。  
日差しは春の光を運び、キラキラと輝いています。幼虫  
たちも春の訪れを体で感じていることでしょう。

3月25日(日)午前10時から、オオムラサキの越冬  
幼虫観察会が開かれます。公園内のエノキの根元でどの  
くらい幼虫が厳しい冬を越すことが出来たのか調べます。  
ぜひ参加してください。

オオムラサキの4齢幼虫



エノキの芽吹きはまだ・・・。



# オムラサキ自然公園の様子

日中は暖かくなり、春のような日差しになってきました。木々の枝の先には春を待つ新芽がふくらんできました。ぜひ、春を待つ小さな命を探しに来て下さい。それではオムラサキ自然公園を紹介しましょう。

<鳥たちの姿>

オムラサキ自然公園に「春がやってきたよ！」と鳥たちが、かわいらしい声でうれしそうにさえずっています。

セグロセキレイが、つがい追いかっこをするように飛んでいるのを見かけました。

<昆虫たちの様子>

シラカバの木にクリオオアブラムシの卵を発見。白の木肌(シラカバ)に真っ黒の卵、光に照らされてとてもきれいでした。

<芽をふくらませた木々たち>

ガマズミ、レンギョウ、オニグルミ、ウメ、クマノミズキは新しい赤い枝から赤い芽がふくらんで出ています。

<まだちょっと芽が硬い木々たち>

シラカバ、クヌギ、コナラ、エノキ、ヌルデ

<活動をはじめた草花>

シロツメクサが、雪や人にあんなに踏まれたり押しつぶされていたのに、雪が解けたら一斉に立ち上がって生き生きと葉っぱを広げていました。力強いですね！！

オオイヌノフグリが、青いかわいらしい花を一番に咲かせていました。

ミツマタがつぼみになっています。「いつ咲くのだろう」とときどきしています。(3~4月に咲くと思います)

<その他の生き物の様子>

水ゆるむ池の中に、まるで日向ぼっこをしているかのようにメダカがゆっくと泳いでいました。

オオイヌノフグリ

なぜ、「オオイヌノフグリ」と言うか知っている？！

図鑑で調べてみよう。



## 「里山の鳥たち」金谷兼義写真展

アマチュア写真家金谷兼義さんが里山に住む野鳥をとりづづけた中から力作34点を選んで展示しています。

開催場所 オムラサキセンター

## オムラサキ通信について

2000年度オムラサキ通信にあたたかいご支援、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

2001年度オムラサキ通信のペーパー版を希望される方は2001年3月31日までに1年間分(80円切手×12ヶ月分)の郵送切手を当センターまでお送りください。(ホームページ上でも同じ内容で通信を載せていますので、そちらでもご覧になれます。)

2001年度もより良い通信を目指して職員一同、頑張っていきたいと思っております。今後もよろしくお願いたします。

## 由紀さん安田さんありがとう

地元の中学生と一緒に・・・。

2月17日(土)子ども環境文化祭の一環として「由紀さおり・安田祥子ご姉妹に童謡のお話を聞く会」が長坂町甲陵高校で開催されました。

当日は長坂中学校生徒、教育関係者、一般参加者など約700名が参加しました。童謡や私たちが忘れかけている故郷への思いなどご姉妹の息の合ったお話で大変、盛り上がりました。話の中でお二人のお母様のことが何回かでて来ましたが、素晴らしいお母様の影響がお二人のライフスタイルのベースにあるようです。お二人は、話し慣れていらっしゃるので、場面場面の話の展開が素晴らしいと思いました。故郷や母への思いを大切にしていけることが、一人一人の心を育てているというお話も印象的でした。すてきな話をありがとうございました。



ミツマタのつぼみ



春を待つ  
冬芽が公園には  
いっぱい！！

探しにおいでよ！

## 冬を楽しむ！

雪の中で楽しんだ一日

「子どもの頃、雪が降ると大喜びで外に出て遊びましたね。」そんな思い出を呼び起こしてくれるような「自然を楽しむ！大人プログラム 冬を楽しむ」が2月4日(日)、オムラサキ自然公園で行なわれました。

長坂町在住、自然観察指導員の松井美香さんを講師に招き、雪の中に隠した木の実を探すネイチャーゲーム「ごちそうはどこだ」をしたり、雪の冷たさを利用してアイスクリームを作ったり、クヌギの実を使って毛糸を染めて冬の色を楽しんだりしました。

参加者は「こんなに長く外にいたのは久しぶりです。雪の上に残っていた足跡は何の動物だったのかしら・・・。楽しくて寒さを忘れてしまいました。」と雪のテーブルで食事をしている時に話してくれました。

雪の上で思いっきり走り回ったり、アイスクリーム作りに真剣になったり、染めた毛糸でコースターを編むのに夢中になったり、何もかも忘れて童心にかえって遊んだ一日でした。